

横濱冷凍株式会社



vol.I 立志編

人のためになる企業を目指して

◇横浜冷凍 創業の経緯

昭和二十三年 横浜市中央卸売市場製氷冷蔵施設経営組合の委員の一人だった創業者（故吉橋伊佐男）のところへ市場の人びとが、「組合の冷蔵倉庫を利用して輸出業務を始めたい」と相談に來ました。

それが一つの動機となって市場の荷受とか加工会社の社長に集まってもらい話し合って当社が設立されました。

つまり敗戦後の食べるものにも困るくらいの時代に、「どうしたら日本を復興出来るか」、「それにはドルを稼ぐしかない」と、市場関係の人びとが、横浜市民ばかりでなく国全体のために役立とうと興された会社です。

◇創業の精神

誰かのためになるということが経営姿勢の基本方針ではないかと考えています。
仕事というものは、誰かのためになるということに目標を置いて励めば、必ず成功するのではないでしょうか。

戦後間もない頃、当時は捨てていたサメやホッケを利用し、カマボコなどの練製品を作りました。これは儲けるというより、食糧難を少しでも何とかしようという気持ちだったんです。また、横浜はとも魚の入荷が少なかったんですが、北海道へ行ってみると、サンマやイカがたくさん水揚げされていたんです。しかし輸送手段がないために横浜へ運べない。これを運んだら市場の人たちはもちろん横浜市民も喜ぶだろうと、運搬船を二隻作りましたが、お金がなかったので銀行から借金したんです。おもしろいもので横浜市民のためだと思っっているから大きな顔をして借りに行った(笑い)。

「市民のためなのに協力しないなんて言語道断だ！」

なんて変な理屈をつけてね。

これが自分の儲けのためだとなると、こうはいかないでしょうね。



新港埠頭工場での舁荷役

(はしけにやく)
舁荷役とは港湾内で船と陸との間で行われる貨物の積み卸しのこと。

コンテナが発明されトラック輸送が主流になるまで、大量の貨物は船で運んでいたんだ。運搬船は大きすぎて岸壁に着けられないので、小型の舁船に積み替えて運んでいたんだ。

当時舁で運ばれてくる貨物は、荷揚げから仕分を人海戦術でやっていて、当然若い社員がいちばんキツイ舁からの荷揚げ担当：

「なんちゅう酷い会社に入ってしもたんやろ：」
って思ったもんです。でも、まあまあ給料は良かったけどね。

新港埠頭工場



ずらり並んだ船

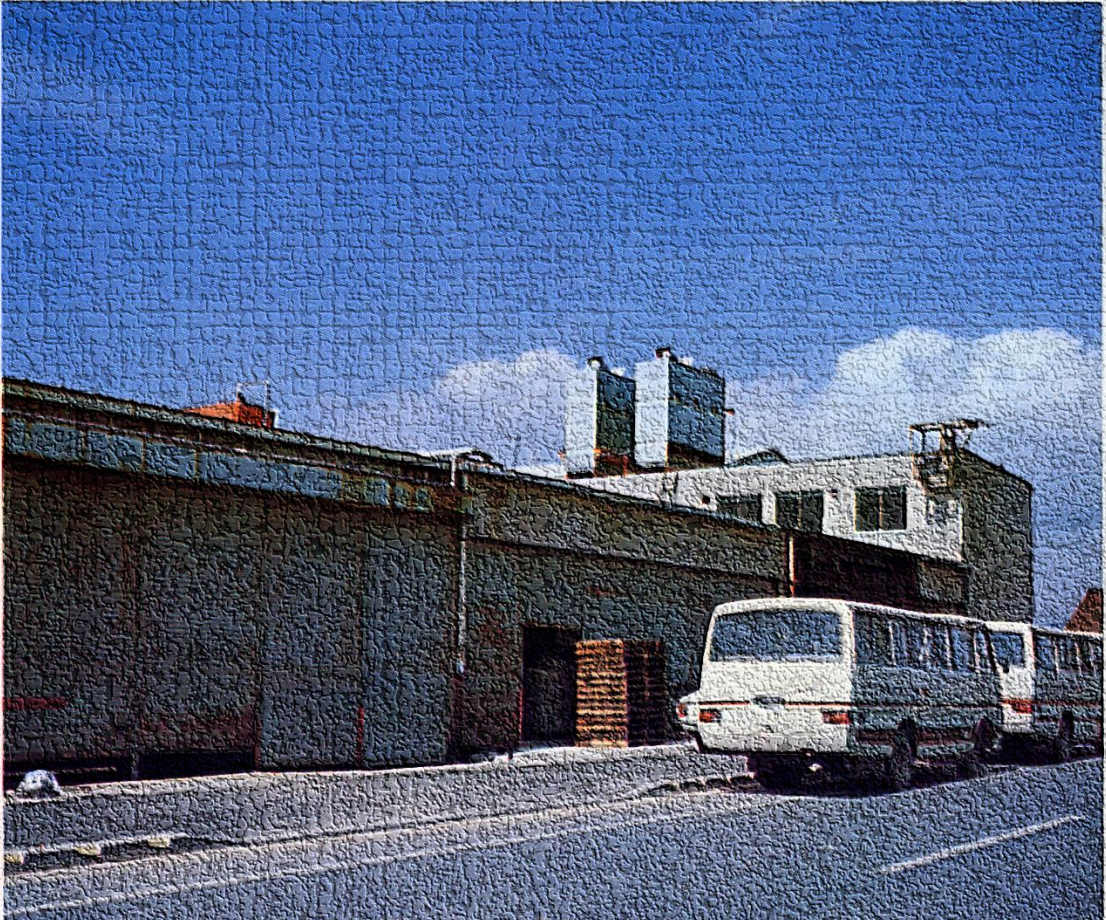


旧小牧工場(昭和43年竣工)と名神小牧IC

小牧工場は当社初の
内陸型冷蔵倉庫だよ。
今のように高速道路
が整備されてないた
め、他社の貨物は期
待できなかったから
自社用の畜肉加工場
を作ったんだ。当時
冷蔵倉庫に加工場を
併設して建てること
が多く、全国に様々
な加工場があったの
で、新入社員は最初
加工場に配属され、
早朝から原料の買付
や加工場での作業、
製品の配達まで：商
品の基礎からみっち
りと学んでいたんだ。



養老工場での畜肉加工



旧気仙沼工場(昭和43年竣工)

気仙沼工場は当社で最初の産地工場だよ。気仙沼はカツオやマグロが有名だけど、サメもたくさん獲れたので、サメを原料にしたすり身を作っていたんだ。サメのすり身は「はんぺん」の原料に使われていて、あのふわふわの食感はサメのすり身が無いと作れなかったんだ。翌年できた釧路工場もすり身を作る設備を入れたけど、釧路ではスケソウダラが主な原料だったんだ。



釧路工場(昭和44年竣工)



すり身の原料となる大量のスケソウダラ

長崎は九州一の水揚があつたのだけど、冷蔵倉庫が少なく、大漁時は最悪ミール用として安く処分されていったんだ。長崎工場ができてからイワシやサバなどを獲る巻網船がこぞって入港するようになり水揚げが急増浜値も安定し魚市場や船主達は大喜び：

でも、従業員は月夜（旧暦の15日前後）と休日が重ならないと休み無しでした：長崎での成功をきっかけに唐津、枕崎、佐世保：九州の主要漁港に鮮魚の選別・凍結設備を備えた産地型冷蔵倉庫を次々建て「産地に強いヨコレイ」が定着していったんだ。



長崎工場(昭和58年竣工)での鮮魚の選別



長崎SS

長崎LC

長崎漁港空撮(写真提供:井上富雄氏)



当社が本格的に農産物を扱いはじめたのは鳥栖工場を建てた昭和60年に遡ります。荷物の集荷で農家を回っている、豊作で売先のないキャベツが畑にたくさん放置されていて生産者から「何とかならないものか」と相談を受けたのがきっかけなんだ。

喜茂別物流センター(平成30年竣工)



ダイヤモンド十勝
ホースラディッシュの選別



Bangpakong D.C. (1992年竣工)



Bangpakong D.C. PHASE-II (2015年竣工)

当社初の海外
進出となった
タイヨコレイ
設立から30年
あまり：
『グローバル
戦力の強化』
を目標に掲げ
新たな事業領
域に進出する
ために、海外
ネットワーク
の拡大を推進
しています。



Hofseth Aqua (Norway)

「会社は社会の公器であり
利益は奉仕の尺度である」



初代横浜工場 昭和二十四年竣工